

2. 事業実施状況

I 公益目的事業1（公1）

1 肉用子牛の価格差補てんに関する事業 464,419,200円

（事業の目的）

肉用牛繁殖農家の経営安定を目的として、肉用子牛の平均売買価格が国が示した基準価格を下回った場合に、生産者に補てん金を交付する。

(1) 肉用子牛生産者補給金制度 255,233,900円

（事業内容）

肉用牛繁殖農家の経営安定を目的として、(独)農畜産業振興機構、県からの補助金（助成金）及び生産者の拠出金により基金を造成した。

また、肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、(独)農畜産業振興機構からの補助金（補給交付金）を交付した。

<事業実施期間> 令和2年度～令和6年度

（令和6年度実績）

① 契約戸数：432戸

② 基金造成額：12,233,600円

個体登録頭数(令和6年1月～令和6年12月)

(単位：頭、円)

| 品 種 | 契約 頭数 | 積立 単価 | 生産者積立 金積立額 | 負 担 区 分 | | |
|--------|----------|----------|---------------|--------------|-----------|-----------|
| | | | | 農畜産業 振興機構 | 佐賀県 | 契約 生産者 |
| 黒毛和種 | 7,520 | 1,600 | 12,032,000 | 6,016,000 | 3,008,000 | 3,008,000 |
| 褐毛和種 | 0 | 6,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の肉専 | 0 | 18,800 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 乳用種 | 0 | 6,800 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 交雑種 | 63 | 3,200 | 201,600 | 100,800 | 50,400 | 50,400 |
| 計 | 7,583 | — | 12,233,600 | 6,116,800 | 3,058,400 | 3,058,400 |

③ 補給金交付額：243,000,300円 (単位：人、頭、円/頭、円)

| 品種区分 | 対象期間 | 対象者 | 対象頭数 | 補給金単価 | 合計 |
|------|--------------|-----|-------|--------|-------------|
| 黒毛和種 | 令和6年 1～3月 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4～6月 | 304 | 1,884 | 22,600 | 42,578,400 |
| | 7～9月 | 293 | 1,870 | 65,100 | 121,737,000 |
| | 10～12月 | 287 | 1,869 | 42,100 | 78,684,900 |
| 合計 | — | 349 | 5,623 | — | 243,000,300 |

(財源) (独)農畜産業振興機構補助金、生産者拠出金、県補助金

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 13,994,500円

(事業内容)

肉用子牛生産者補給金制度を適正に運用することを目的に、(独)農畜産業振興機構から補助を受け、制度の対象となる子牛の登録・確認、事務委託団体の指導、検討会の開催、子牛の取引状況調査などを行った。

(令和6年度実績)

- ①事業説明会の開催：2回
- ②現地調査：契約生産者と事務委託先へ調査指導（37回）
- ③子牛取引状況調査：県内1指定家畜市場

(業務委託)

制度内容の周知・連絡、事業申込み、負担金徴収、各種報告などの一部事務について、利用農家が属する5団体に委託した。

(JAさが、JAからつ、JA伊万里、佐賀県開拓畜産事業協同組合、佐賀県配合飼料価格安定基金協会)

なお、1頭当たり410円の事務手数料を徴収した。

(財源) (独)農畜産業振興機構補助金、事務手数料

(3) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 0円

(事業内容)

(独)農畜産業振興機構から補助を受け、ブロック別子牛の平均価格が発動

基準価格を下回った場合に、肉用子牛の飼養頭数を維持するため、畜舎の環境改善や疾病の防止等を通して経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、奨励金を交付する。

(令和6年度実績)

なし

(4) 和子牛生産者臨時経営支援事業 56,511,800円

(事業内容)

(独) 農畜産業振興機構の補助を受け、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回ったため支援交付金を交付した。

(令和6年度実績)

① 参加戸数：373戸

② 支援交付金交付額：56,170,800円 (単位：人、頭、円/頭、円)

| 品種区分 | 対象期間 | 対象者 | 対象頭数 | 交付金単価 | 合計 |
|------|--------------|-----|-------|--------|------------|
| 黒毛和種 | 令和6年 1～3月 | 262 | 1,486 | 37,800 | 56,170,800 |
| 合計 | — | — | 1,486 | — | 56,170,800 |

③ 事業推進 341,000円

(業務委託)

制度内容の周知・連絡、参加申込書のとりまとめなどの一部事務について、利用農家が属する3団体に委託した。

(JAさが、JAからつ、JA伊万里)

(財源) (独)農畜産業振興機構補助金

(5) 優良和子牛生産推進緊急支援事業 138,679,000円

(事業内容)

(独) 農畜産業振興機構から補助を受け、四半期ごとの和子牛のブロック別平均価格が発動基準価格を下回ったため、飼養管理向上のための取組メニューを行う和子牛生産者に対し、奨励金を交付した。

(令和6年度実績)

① 参加戸数：341戸

② 支援交付金交付額：136,520,000円（単位：円/頭、人、頭、円）

| 品種区分 | 対象期間 | 交付金 単価 | 対象者 | 対象 頭数 | 合計 |
|------|--------------|-----------|-----|----------|-------------|
| 黒毛和種 | 令和6年 4～6月 | 20,000 | 2 | 3 | 60,000 |
| | | 30,000 | 268 | 1,515 | 45,450,000 |
| | | 小計 | 270 | 1,518 | 45,510,000 |
| | 7～9月 | 20,000 | 2 | 2 | 40,000 |
| | | 30,000 | 259 | 1,504 | 45,120,000 |
| | | 小計 | 261 | 1,506 | 45,160,000 |
| | 10～12月 | 20,000 | 1 | 2 | 40,000 |
| | | 30,000 | 254 | 1,527 | 45,810,000 |
| | | 小計 | 255 | 1,529 | 45,850,000 |
| 合計 | — | — | — | 4,553 | 136,520,000 |

③ 事業推進 2,159,000円

(業務委託)

制度内容の周知・連絡、参加申込書のとりまとめなどの一部事務について、利用農家が属する3団体に委託した。

(JAさが、JAからつ、JA伊万里)

(財源) (独)農畜産業振興機構補助金

2 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業 971,619,824円

(事業の目的)

肉用牛肥育農家の経営安定を目的として、肥育牛1頭当たりの平均粗収益(販売額)が平均生産費を下回った場合に生産者に補てん金を交付する。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 959,292,824円

(事業内容)

肉用牛肥育農家の経営安定を目的として、肥育牛1頭当たりの平均粗収益(販売額)が平均生産費を下回った場合に、(独)農畜産業振興機構からの

補助金及び肥育農家が拠出する基金から、当該期間に販売された牛に対してその差額の9割を補てん金として交付した。

<事業実施期間> 令和4年度～令和6年度

(令和6年度実績)

①契約戸数：186戸

②基金造成額：155,014,000円

補てん金の交付財源の一部となる積立金の造成を行った。

(単位：円)

| 品種 | 負担区分 | | 合計 |
|------|---|-------------|-------------|
| | 佐賀県 | 生産者 | |
| 肉専用種 | 31,641,000 | 116,129,000 | 147,770,000 |
| 交雑種 | 630,200 | 6,493,800 | 7,124,000 |
| 乳用種 | 10,800 | 109,200 | 120,000 |
| 合計 | 32,282,000 | 122,732,000 | 155,014,000 |
| 造成頭数 | 令和6年4月～令和7年3月 ・肉専用種 21,094頭 ・交雑種 548頭 ・乳用種 12頭 | | |

③補てん金交付額：804,278,824円

標準的販売価格が標準的生産費を下回った月において、その差額の9割を(独)農畜産業振興機構からの交付金及び積立金より契約生産者に交付した。

(単位：円)

| 品種 | 区分 | | 交付金合計 |
|------|---|-------------|-------------|
| | 機構交付金(3/4) | 積立金(1/4) | |
| 肉専用種 | 600,083,690 | 200,028,546 | 800,112,236 |
| 交雑種 | 2,673,408 | 891,156 | 3,564,564 |
| 乳用種 | 451,513 | 150,511 | 602,024 |
| 合計 | 603,208,611 | 201,070,213 | 804,278,824 |
| 対象頭数 | 令和6年1月販売牛(精算払)～令和7年1月販売牛(概算払) ・肉専用種 17,030頭 ・交雑種 229頭 ・乳用種 15頭 | | |

(財源) (独)農畜産業振興機構補助金、生産者拠出金、県補助金

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務委託事業 12,327,000円

(事業内容)

(独)農畜産業振興機構から委託を受け、対象となる肥育牛の登録・販売確認、事務委託団体の指導、推進会議の開催などを行い、肉用牛肥育経営安定交付金制度の適正な運営を図った。

(令和6年度実績)

- ① 推進会議の開催：2回
- ② 現地調査：契約生産者と事務委託先へ調査指導（17回）

(事務委託)

制度内容の周知・連絡、事業申込み、農家拋出金徴収、各種報告など一部事務について、利用農家が属する5団体に委託した。

(JAさが、JAからつ、JA伊万里、佐賀県開拓畜産事業協同組合、佐賀県配合飼料価格安定基金協会)

なお、1頭当たり500円の事務手数料を徴収した。

(財源) (独)農畜産業振興機構委託費、事務手数料

(3) 佐賀牛等肥育素牛導入緊急対策事業 0円

(事業内容)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、牛枝肉価格が急激に下落していることから、肉用牛の生産を維持するため、肥育素牛の導入に係る奨励金を交付することで、肉用牛肥育農家の営農意欲の維持や経営の安定化を図る。

(令和6年度実績)

なし

3 養豚経営の所得補てんに関する事業

(事業の目的)

養豚農家の経営安定を目的として、(独)農畜産業振興機構、県からの補助金及び生産者の拋出金により基金を造成し、肥育豚1頭当たりの平均粗収益(販売額)が平均生産費を下回った場合に、(独)農畜産業振興機構が生産者に補てん金を交付する。

(1) 養豚経営安定交付金制度に係る連絡調整等委託業務 0円

(事業内容)

当協会は交付を行わないが、(独)農畜産業振興機構が行う「養豚経営安定対策事業」について普及推進を行う。

(令和6年度実績)

なし

II 公益目的事業 2 (公2)

1 畜産の経営指導に関する事業 16,764,012円

(事業の目的)

畜産経営の育成と安定向上を目的として、畜産農家に対して、関係機関・団体と支援チームを構成し、経営診断による助言・指導及び畜産特別資金借入農家の経営指導などを行う。

(1) 畜産経営技術高度化推進事業 4,500,000円

(事業内容)

生産性、収益性の高い畜産経営体を育成することを目的として、畜産農家に対して、畜産の各分野の専門家による支援チームにより経営診断による助言・指導、技術研修会の開催、技術情報提供及び相談活動などを行った。

(令和6年度実績)

① 支援チーム検討会：7回

② 経営診断：30戸、事後指導：20戸

| 団体名 | 診断件数 | 内 訳 | | | |
|--------|------|-----|---------------|---------------|----|
| | | 酪農 | 繁殖 (一貫を含む) | 肥育 (一貫を含む) | 養豚 |
| 佐賀県農協 | 7 | | 5 | 2 | |
| 唐津農協 | 8 | 1 | 4 | 3 | |
| 伊万里市農協 | 14 | | | 14 | |
| 系統外 | 1 | | | | 1 |
| 合計 | 30 | 1 | 9 | 19 | 1 |

③ 経営改善研修会

| 開催日 | 集団名 | 出席者数 |
|-----------|-----|------|
| 令和6年7月12日 | 県域 | 34名 |

(財源) 県委託費

(2) 畜産特別資金等推進指導事業 7,064,000円

(事業内容)

畜産特別資金借受者の経営改善を目的として、同資金借受者及びその融資機関に対して、経営改善計画の作成指導や達成指導を行った。

(令和6年度実績)

① 支援協議会の開催：4回

② 融資機関への助言指導：3融資機関

③ 経営改善計画の作成、見直し、達成指導

(見直し指導：2戸、濃密指導：6戸、改善計画達成指導：2戸、重点農家指導：2戸)

④畜特資金借入者の実績点検調査：2回、経営改善状況調査：1回

(財源) (公社) 中央畜産会補助金

(3) 畜産経営指導体制支援事業 5,200,012円

(事業内容)

畜産振興を目的として、畜産関係機関・団体と連携し、地域畜産の活性化、収益性の高い畜産経営実現並びに安全かつ安定的な食の供給のための事業の推進を行った。

(令和6年度実績)

①畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

②地域畜産の活性化、安全かつ安定的食の供給のための事業の推進

(財源) 地方競馬全国協会補助金

2 畜産の経営支援に関する事業 5,373,275円

(事業の目的)

畜産経営の生産基盤の強化、安定向上及び地域の畜産振興を目的として、畜産クラスター協議会や楽酪応援会議に参画する生産者に経営支援を行う。

(1) 肉用牛経営安定対策補完事業

(地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業) 1,457,227円

(事業内容)

地域の繁殖基盤の強化と地域の活性化を目的として、生産者集団等に対して、能力の高い繁殖雌牛の増頭・導入に対し奨励金を交付した。

(令和6年度実績)

① 増頭奨励金、導入奨励金（多様性、優良）の交付

| 項目 | 戸数（戸） | 頭数（頭） | 金額（円） |
|------------------------------|-------|-------|---------|
| 中核的担い手育成増頭推進 （増頭奨励金） | 0 | 0 | 0 |
| 遺伝的多様性に配慮した 改良基盤確保（導入奨励金） | 3 | 9 | 600,000 |
| 優良繁殖雌牛導入支援 （導入奨励金） | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 3 | 9 | 600,000 |

② 肉用牛振興推進指導 857,227円

（財源）（独）農畜産業振興機構補助金

(2) 畜産経営災害総合対策緊急支援事業 0円

（事業内容）

豪雨等災害により被災した生産者の安定的な経営継続を目的に、牛舎、飼養管理の付帯施設・機械等の補修・改修等を支援する。

(令和6年度実績)

なし（補助対象となる災害の発生無し）

（財源）（独）農畜産業振興機構補助金

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）1,874,000円

（事業内容）

畜産経営の収益性を向上させるため、機械導入事業（リース事業）に係る県窓口団体として、事業の円滑な推進を図った。

(令和6年度実績)

- ① 県内における事業の推進業務
- ② 県内における事業参加要望書及び事業参加申請書の取りまとめ業務
- ③ 県との協議に係る窓口業務
- ④ 県内における事業の執行に係る連絡・調整、データ整理及び調査業務

《参考》 令和6年度要望

(単位：人、基、円)

| 協議会 | 取組主体数 | 機械数 | 機械価格(税抜) |
|-----|-------|-----|------------|
| 5 | 6 | 12 | 68,412,326 |

(財源) (公社) 中央畜産会委託費

(4) 畜産経営体生産性向上対策事業 172,312円

(事業内容)

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減、生産性向上のために協議会等が取り組む搾乳ロボット・AI・IoT等の先端技術の機械導入事業(リース)に係る県窓口団体として、事業の円滑な推進を図った。

(令和6年度実績)

①普及推進業務

ア 県内における事業推進会議の開催、現地関係機関への普及説明等の実施

イ 県、関係機関・協議会等との連絡調整の実施

ウ 要望調査票及び実施計画書のとりまとめの実施

エ 過年度事業対象者の現地指導確認の実施

(財源) (公社) 中央畜産会委託費

(5) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 564,336円

(事業内容)

酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入(リース事業)と一体的な施設の整備に係る県窓口団体として、事業の円滑な推進を図った。

(令和6年度実績)

①普及推進業務

ア 県内における事業推進会議の開催、現地関係機関への普及説明等の実施

イ 県、関係機関・協議会等との連絡調整の実施

ウ 要望調査票及び実施計画書のとりまとめの実施

(財源) (公社) 中央畜産会委託費

(6) 優良繁殖雌牛更新加速化事業 1,305,400円

(事業内容)

肉用牛の生産基盤拡大の強化と輸出拡大を目指すため、繁殖農家等が、畜産クラスター計画に基づき、優良な和牛繁殖雌牛を増頭する場合に、飼養規模や増頭実績に応じた奨励金が交付された。

(令和6年度実績)

- ①県内における事業の推進業務
- ②県内における事業要望書及び増頭計画書の取りまとめ業務
- ③補助金交付申請等業務の執行等に係る書類の確認及び送付業務
- ④取組主体との協議に係る窓口業務
- ⑤県内における事業の執行に係る連絡・調整、データ整理及び調査業務
- ⑥その他全国協会会長が必要と認める業務

(財源) (一社) 全国肉用牛振興基金協会委託費

《参考》 奨励金実績額等

| 区分 | 戸数 (戸) | 頭数 (頭) | 奨励金額 (円) |
|-----|--------|--------|------------|
| 奨励金 | 36 | 104 | 10,500,000 |

※奨励金は、全国肉用牛振興基金協会からJAを経由して生産者へ交付

(7) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (肥育生産支援事業) 0円

(事業内容)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による国内外の需要減少により牛枝肉価格が低下しているため、経営体質の強化を図るために肥育牛経営強化計画を策定した肥育農家に対して、経営体質強化メニュー数、牛枝肉価格の下落割合及び出荷頭数に応じた奨励金を交付する。

(令和6年度実績)

なし

3 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業 12,026,908円

(事業の目的)

畜産経営の技術向上を目的として、畜産協会が有する畜産経営調査に必要な知識とこれまでの経験を生かし、畜産の経営事例や生産技術などに関する

調査を行うとともに、畜産農家や畜産関係者への指導助言や情報提供を行う。

(1) 畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査事業 2,400,000円

(事業内容)

中央畜産会が取りまとめる畜産経営の実態調査のために、経営内容や生産技術が優秀な畜産農家を対象とした経営状況調査を行った。

(令和6年度実績)

- ① 経営状況調査：22件
- ② アンケート調査等：8戸

(財源) (公社) 中央畜産会請負費

(2) 生産技術情報提供事業 3,144,000円

(事業内容)

家畜の生産性向上を図るために酪農、肉用牛経営の生産性に係るデータの収集・分析を行うとともに、それに基づく技術指導を実施した。

(令和6年度実績)

- ① 指導戸数：45戸

(財源) (公社) 中央畜産会請負費

(3) 地域畜産関係情報提供事業 5,163,336円

(事業内容)

本県の畜産物の生産状況、協会の事業概況やイベント等を協会のホームページや関係機関の情報誌等に情報提供を行い、本県畜産の理解を醸成するとともに県産畜産物の消費拡大を図った。

(令和6年度実績)

- ① ホームページアクセス数：7,345回
- ② 家畜セリ市名簿への情報提供：12回
- ③ 畜産物消費拡大チラシ作成 (1回)
- ④ 関係機関等発行の情報誌への掲載 (4回)

(財源) 地方競馬全国協会補助金

(4) 貸付事業指導等事業 209,572円

(事業内容)

畜産農家の経営改善を目的として、(公財)畜産近代化リース協会から県内畜産農家に貸付けられた施設・機械の確認及び管理状況調査を実施し、貸付施設等の効率的な活用や新規貸付者の掘り起こしを行った。

(令和6年度実績)

| 調査農家数 | 調査基数 (基) |
|-------|----------|
| 4 | 5 |

(財源) (公財) 畜産近代化リース協会委託費

(5) 課題解決サポート事業 110,000円

(事業内容)

日本政策金融公庫資金借入農家の経営改善を目的として、借入農家の経営内容を調査し、経営改善計画達成に向けて支援した。

(令和6年度実績)

実施件数 1件

(財源) (公社) 中央畜産会委託費

(6) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業 1,000,000円

(事業内容)

2030年の農林水産物・食品の輸出目標達成のためには、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応等、生産段階での対応が必要であり、生産者の理解醸成や意識向上が急務となっている。このため、一般社団法人日本畜産物輸出促進協会の委託を受け、県と緊密な連携の下に畜産物輸出に対する生産者の理解醸成等を図り、もって畜産輸出の促進に資した。

(令和6年度実績)

①輸出相談窓口の設置

②会議の開催：1回

(財源) (一社) 日本畜産物輸出促進協会委託費

4 生産者及び生産者団体への活動支援に関する事業 3,174,000円

(事業の目的)

担い手育成や畜産の活性化のために活動を行っている生産者団体の組織強化を図るため、研修会等の開催を行う。

(1) 地域畜産支援指導等体制強化事業 3,174,000円

(事業内容)

畜産経営の中核的役割への女性参画の拡大と女性の地位向上を図るため、女性自身の経営能力の向上とともに女性経営者の育成及び女性の能力発揮に向けた関係者の意識改革とサポート体制の強化等を図った。

(令和6年度実績)

- ① 研修会の開催：3回
- ② 畜産経営相談窓口の設置
- ③ 畜産フェアの開催：3回
- ④ 冠レースの開催：4回

(財源) (公社) 中央畜産会委託費

Ⅲ 公益目的事業3（公3）

1 家畜伝染性疾病の予防接種及び予防措置に関する事業 39,591,135円

（事業の目的）

家畜の伝染性疾病の予防、ひいては公衆衛生の向上を目的に、県の指導や獣医師の協力を得て、畜産農家に対して、予防接種の実施や適切な死亡牛処理等を推進する。

(1) 家畜生産農場衛生対策事業 11,400,169円（内補助金額 1,700,679円）

（事業内容）

畜産経営への影響が大きい家畜伝染病である牛のヨーネ病、牛ウイルス性下痢（以下「BVD」）、牛伝染性リンパ腫の清浄化対策を支援するとともに、獣医師による農場衛生指導の実施や、吸血昆虫により媒介されるアカバネ病等の予防接種等の支援を行い畜産経営の安定を図った。

（令和6年度実績）

① 疾病清浄化支援対策 786,740円

ア ヨーネ病対策

a 検討会の開催 1回

b 検査費の助成 1戸 63頭

イ BVD対策

a 検討会の開催 1回

b 検査費の助成 2戸 77頭

ウ 牛伝染性リンパ腫対策

a 検討会の開催 1回

b 検査費の助成 6戸 51頭

② 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止支援対策 913,939円

ア 疾病流行防止支援対策

| 区分 | 回数・頭数 | 事業費(円) | うち国庫補助額(円) | うち生産者負担金(円) |
|--------------|--------|-----------|------------|-------------|
| ワクチン策定会議 | 1回 | 3,563 | 3,563 | 0 |
| 牛異常産3混ワクチン接種 | 0頭 | 0 | 0 | 0 |
| 牛異常産4混ワクチン接種 | 4,417頭 | 9,973,586 | 565,376 | 9,408,210 |
| 合計 | — | 9,977,149 | 568,939 | 9,408,210 |

（財源）国庫補助金、生産者負担金

事業推進 345,000円

(2) 予防接種事業 21,464,635円

(事業内容)

畜産経営への影響が大きい家畜伝染性疾病の発生予防を目的に、農家の負担金を財源とし、家畜への予防接種を行った。

事業は県内各地域の家畜自衛防疫団体と連携して実施し、協会がまとめてワクチンを購入し、予防接種は、協会と契約した指定獣医師の協力を得て実施した。

(令和6年度実績)

予防接種頭羽数

(単位:頭、羽、円)

| | ワクチン名 | 接種頭羽数 | 実績額 |
|---|------------|---------|------------|
| 牛 | イバラキ病 | 1,694 | 1,431,430 |
| | 牛5混 | 6,533 | 12,445,365 |
| | 牛ヘモフィルス感染症 | 6,384 | 6,926,640 |
| | 牛5混不活化 | 0 | 0 |
| | 牛6混 | 0 | 0 |
| | T S V-3 | 0 | 0 |
| 豚 | 豚丹毒(生) | 590 | 118,000 |
| | 日脳・豚パルボ | 0 | 0 |
| 鶏 | N D | 272,000 | 258,400 |
| | N D I B | 267,000 | 284,800 |
| | 合計 | — | 21,464,635 |

(財源) 生産者負担金

(3) 牛疾病検査円滑化推進対策事業 450,000円

(事業内容)

死亡牛のB S E検査の円滑な推進を図るため、畜産農家が負担する経費の一部を国からの補助を受け、畜産協会が助成した。

(令和6年度実績)

- ① 死亡牛適正処理推進協議会の開催 2回
- ② 死亡牛処理経費の一部補助

特定症状や歩行困難、起立不能等を呈しており、その症状からBSEを否定できない牛のみが対象牛。

ア 検査促進費

BSE検査の要否を判断する者に対し、判断に必要となる生前情報を事業対象農家等が提供することを促進するために助成し、BSEの症状が疑われる死亡牛の生前情報を提供した農家にのみ行った。なお、生前情報の提供の有無は、死亡牛処理整理票等において確認した。

イ 検体提供費

BSE検査実施に伴う、農場からBSE検査用の検体を採材する施設までの輸送費に相当する額の助成を行う費用。なお、実費での補助を行う場合、真のかかり増し経費の算定が困難であることから、検体提供費は定額の補助とする。

死亡牛検査処理安定化対策内訳 (単位:頭、円)

| 区 分 | 実績頭数 | 単価 | 補助金額 |
|-------|------|-------|---------|
| 検査促進費 | 11 | 6,000 | 66,000 |
| 検体提供費 | 11 | 6,000 | 66,000 |
| 計 | (11) | — | 132,000 |

(財源) 国庫補助金

(4) 馬防疫強化地域推進対策事業 598,000円

(事業内容)

乗用馬等(競走馬以外)の馬インフルエンザの発生予防を目的に、馬インフルエンザワクチン接種を推進し、畜産農家が負担する経費の一部を中央畜産会からの補助を受け、畜産協会が助成した。

(令和6年度実績)

- ① 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会開催 1回
- ② 馬インフルエンザワクチン予防接種 17頭

(財源) (公社)中央畜産会補助金

(5) 予防注射事故対策事業 0円

(事業内容)

畜産協会が実施した予防注射において、予防注射事故が発生した場合に、見舞金を交付する。

(令和6年度実績)

なし

(財源) 畜産協会単独

(6) 家畜衛生防疫対策事業 5,678,331円

(事業内容)

畜産振興を目的として、畜産協会が実施する家畜衛生関連対策の推進を行った。

(令和6年度実績)

① 家畜の伝染性疾病予防対策

② 予防接種や衛生指導

(財源) 地方競馬全国協会補助金

(7) アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業 0円

(事業内容)

養豚農場における野生動物の侵入防護柵を整備し、家畜伝染病の予防措置を図るため、その防護柵の整備をする場合に負担の軽減を図るため必要な費用を助成する。

(令和6年度実績)

なし

(財源) 独立行政法人農畜産業振興機構補助金

(8) 佐賀県消費・安全対策交付金事業 0円

(事業内容)

畜産経営のバイオセキュリティを向上させるため、防鳥ネット、動力噴霧器、簡易更衣室、死体保冷保管庫、燻蒸庫、パスボックス、飲水消毒装置、看板等の導入に必要な経費を支援する。

(令和6年度実績)

なし

(財源) 国庫補助金、佐賀県補助金、生産者負担金

2 畜産物の安全や畜産経営の衛生指導及び調査に関する事業 5,537,000円

(事業の目的)

畜産物の安全・安心や畜産経営における家畜衛生に関する技術や意識の向上を目的として、畜産農家や関係者を対象に、推進会議や検討会・講習会、調査等を行う。

(1) 家畜防疫・衛生指導対策事業 4,706,000円

(事業内容)

地域の畜産農家の防疫活動強化を目的として、自衛防疫対策会議と地域における防疫活動の演習の開催並びに農場HACCP構築のための普及推進協議会・研修会等を開催するとともに具体的な取組み支援を行い農場の育成を図った。

(令和6年度実績)

- ① 地域自衛防疫取組促進対策会議の開催 2回
- ② 生産者段階の防疫演習 4か所
- ③ 地域農場 HACCP 認証構築指導農場 2農場
- ④ HACCP普及推進協議会等の開催 1回

(財源) (公社)中央畜産会補助金

(2) 馬飼養衛生管理特別対策事業 831,000円

(事業内容)

馬飼養衛生管理の向上を目的に、馬飼養実態調査や馬飼養衛生管理技術講習会等を行った。

(令和6年度実績)

- ① 地域馬飼養管理体制整備委員会の開催 1回
- ② 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回
- ③ 獣医療実態調査 15戸

(財源) (公社)中央畜産会補助金

3 家畜伝染病まん延防止及び経営支援に関する事業 2,973,923円

(事業の目的)

家畜伝染病発生時の家畜防疫の徹底と経営再建を目指す生産者を支援する。

(1) 家畜防疫互助基金支援事業 2,973,923円

(事業内容)

生産者積立金による基金を（公社）中央畜産会に造成し、家畜伝染病発生時に家畜伝染病まん延防止のために家畜のとう汰を行った生産者に対して、基金と（独）農畜産業振興機構補助金と合わせて交付し、家畜防疫の徹底と農家の経営再建を図り、また、畜産協会は、事業の周知、生産者との契約締結、農家拠出金の徴収及び交付金の交付などの業務を行った。

<事業実施期間> 令和6年度～令和8年度

(令和6年度実績)

① 推進会議の開催

② 生産者との契約締結

・家畜防疫互助事業加入状況 (単位:戸・頭、円)

| 区 分 | 牛 | 豚 |
|----------|--------------|-------------|
| 契約戸数 | 399 戸 | 22 戸 |
| 契約頭数 | 55,015 頭 | 52,021 頭 |
| 生産者積立金 | 8,195,605 円 | 4,963,430 円 |
| 生産者積立金合計 | 13,159,035 円 | |

③ 事業終了時の生産者積立金を生産者へ返戻

・前期事業対象期間（令和3年度～令和5年度）生産者積立金返戻額（牛）

| 区分 | 契約者数 | 契約頭数 | 返戻額 |
|----|------|---------|------------|
| 牛 | 441戸 | 53,334頭 | 8,339,113円 |

※豚の返戻については、全国の契約者農場にて豚熱が発生しており、基金が閉鎖できず前々期事業対象期間から返戻が確定していない。

④ 互助金交付認定委員会の開催、互助金交付単価の算定、互助金の交付

令和5年8月に契約者養豚農場で豚熱が発生し、経営再開を行うため、県交付認定委員会を開催し、互助金交付単価の算定を行い、互助金の交付を行った。

・互助金交付認定委員会による互助金交付単価算定（2回）

・互助金交付（2戸）

(業務再委託)

事業内容の周知・連絡、事業申込み、生産者積立金、各種報告などの一部事務について、生産者が属する4団体に再委託した。

(JAさが・JAからつ、JA伊万里、佐賀県開拓畜産事業協同組合)
(財源) 中央畜産会委託費、生産者積立金

4 獣医師等の育成支援に関する事業 18,276,000円

(事業の目的)

安全安心な畜産物の安定供給のため、産業動物獣医師の確保・育成を図る。

(1) 獣医師養成確保修学資金給付事業 18,276,000円

(事業内容)

佐賀県内の産業動物獣医師等(産業動物獣医師や家畜伝染病の予防・まん延防止を担う行政獣医師)の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金の給付を行った。

(令和6年度実績)

① 獣医学を専攻する学生に修学資金の給付 新規1名 継続7名

(財源) 国庫補助金、佐賀県補助金

IV その他の事業（相互扶助等事業） 1（他1） 2,634,113円

（事業の目的）

畜産振興を目的として、一般消費者及び畜産農家に対して、畜産や畜産物に関する知識などの普及広報活動などにより、消費者の畜産に対する理解と畜産団体と連携強化を図る。

1 馬事畜産振興推進事業 688,000円（うち県協議会165,000円）

（事業内容）

馬事畜産振興協議会からの委託等により、関係団体等と連携し、地方競馬（さがけいば）の支援、畜産や畜産物の普及・啓発を行った。

（令和6年度実績）

- ①協議会の開催：1回
- ②畜産フェアの開催：2回（佐賀競馬場本場開催、WEB開催）
- ③冠レースイベント：1回

（財源）馬事畜産振興協議会、佐賀県馬事畜産振興協議会

2 地方競馬支援対策事業 1,248,789円

（事業内容）

公営競馬の健全な運営並びに発展のため、佐賀競馬場の新規ファンの獲得を目的に、ホームページや情報誌等に競馬情報の発信を行った。

さらに、佐賀競馬場で開催した畜産フェアにおいて、県産畜産物や九州各地の畜産物のPRを他県の畜産協会と連携し行い、畜産物の消費拡大を図った。

（令和6年度実績）

- ① 冠レースイベント：6回
- ② 地方競馬及び畜産物のPR：3回
（JBC畜産フェアin佐賀競馬場、ウェブde畜産フェア、ミルクウィーク）

（財源）地方競馬全国協会補助金

3 県産畜産物ブランド確立対策事業 697,324円

(事業内容)

畜産団体等が開催する共励会等を支援し、家畜の改良や畜産経営技術の改善の促進に努めた。さらに、本県の家畜の改良の度合いや方向性を確認するとともに一般消費者に対し本県畜産物の消費拡大や畜産への理解の醸成を図った。

(令和6年度実績)

- ① 出荷成績検討会：9回
- ② 経営技術管理検討会：4回
- ③ 家畜改良検討会：3回

(財源) 地方競馬全国協会補助金

V その他の事業（相互扶助等事業） 2（他2）

(事業の目的)

畜産振興を目的として、畜産関連事業を実施する団体を支援する。

1 任意組織事務受託事業

(1) 養蜂組合

県内の養蜂を営む者が組織する佐賀県養蜂協同組合の事務全般を受託し実施した。

(2) 養鶏協会

県内養鶏関係団体及び養鶏農家が組織する佐賀県養鶏協会の事務全般を受託し実施した。

(3) 養豚協会

県内養豚関係団体の 4 会員が組織する佐賀県養豚協会の事務全般を受託し実施した。

VI 法人業務

1 法人管理に関する事業

(1) 各種委託事業の実施

中央団体、金融機関等からの調査依頼等の各種事業を実施した。

(2) 会員団体等の諸事業に対する協力

①本協会会員、市町、JAその他各種団体が実施する事業について、これら団体の要請に応じ、直接または間接的に協力した。

②畜産に関する資料・書籍等の斡旋のほか、講習・研修会等を行った。